

陳 情 文 書 表

(教育委員会)

受 理 番 号	3 6 5 8	受 理 年 月 日	令和 7 年 5 月 29 日
件 名	洛西中学校の全員制給食の早期実現		
要 旨	<p>洛西ニュータウンにある二つの中学校の一つが今年4月から小中一貫校となり、中学生の給食が始まっている。もう一つの洛西中学校は、全市実施の3年後になるそうだが、同じニュータウンに住み、道一つ隔てた向こうの中学校は全員制の温かい給食が提供されているのに、不公平感は否めない。洛西中学校には、給食調理施設を新設又は校舎改築で実現することは十分可能である。近隣の大原野中学校、大枝中学校の給食を提供する兄弟方式も検討すればよい。子供たちは、小学校のような温かい給食を望んでいる。</p> <p>市が進めようとしているセンター方式は、コスト面で必ずしも合理性が優れているとは言えないし、京都の交通事情から2時間喫食が厳格に守れるかどうかも危ういものである。そして、何よりも地元の食材を使い、作り手の見える自校方式こそが子供たちの食育につながるのではないか。地域では、大規模災害時に必要なTKB（トイレ、キッチン、ベット）の備えとして、食事の確保、提供できる拠点が必要だが、洛西中学校がその役割を担う施設にもなる。</p> <p>センター方式を否定しないが、自校方式や親子方式で可能な所は、そちらを優先、主流にすることが、京都市らしい、最良の選択だと考える。また、実施時期の条件のある所から前倒しで実施すべきであり、洛西中学校では早期に自校方式の実現を求めるものである。</p> <p>については、洛西中学校において全員制給食の早期実現を願う。</p>		
陳 情 者			
回付委員会	文教はぐくみ委員会		